

ふれあし広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。



西脇中学校福祉委員会の代表の皆さん

（後列）杉本朔哉さん、梶原礼智さん、玉田達哉さん
（前列）岩崎汐那さん、岸田空さん

西脇中が「環境美化教育優良校」に選出

長年にわたって環境美化活動に取り組み西脇中学校が、飲料メーカーでつくる公益社団法人食品容器環境美化協会から、環境美化教育を行う全国の小中学校に贈られる「第20回環境美化教育優良校」として表彰を受けました。

* * *

同校では全学級の代表らで構成する福祉委員会の生徒18人と生徒会が中心となり、社会貢献活動の一環として全校生徒で家庭から出るアルミ缶やペットボトルキャップの回収を実施。委員会はアルミ缶

を換金して車いすや TENT を買い、老人ホームや老人クラブに寄贈したり、キャップを子どものワクチンに代える寄付をしたりしています。

取り組みは同校で長く続けられている一方で、「もっとたくさんさんの生徒に感心を持ってもらい、回収量を増やしたい」（前福祉委員長長の3年・杉本朔哉さん）と、校内での啓発強化を検討。啓発ポスターを制作したり、集会で呼び掛けたりするなどして、活動を盛り上げてきました。

委員らは工夫を凝らしたことが奏功し、以前より多くの量を回収できるようになったと手応えをつかんでいます。このたび表彰状を受け取り、「長く続く活動を先輩から受け継ぎ、取り組んできたことが評価されてうれしい」と声を弾ませました。

3学期から委員長を引き継いだ2年・岸田空さんは「これまで以上に活動を活発にして、みんなで新しい取り組みにも挑戦したい」と、今後の活動に意欲を見せていました。

市民の皆さんのまちづくり活動を紹介します

みんなでまちづくり♪

日野の郷地蔵一本桜 桜まつり

- ▼とき 3月20日（金・祝）午前10時～正午
- ▼ところ 春日橋付近（郷瀬町）
- ▼主催 よいとこちがうか日野の里推進委員会
- ▼内容 焼きそばや桜餅などの振る舞い
- ▼問合せ サンプル日野（☎23-7393）
- ▼第42回比也野よってけライブ「早春お笑い寄席」
- ▼とき 3月28日（土）午後1時30分～3時
- ▼午後1時開場
- ▼ところ こみせん比也野
- ▼出演者 桂九雀、鮎家土瓶
- ▼入場料 500円／こみせん比也野でチケットの事前購入が必要
- ▼主催 ええまち比也野里
- ▼問合せ こみせん比也野（☎24-0120）

いきいきにしわきっ子



おうり
坂下 央莉
2歳9カ月

いつも笑顔をありがとう
友春・左稚穂（岡崎町）

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。



西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
☎22-0111 ☎23-0699 <http://nshp.jp/>

健康バンザイ 165



血液内科部長
松井 利充

後期高齢者でも可能な「血液がん」の治療

「人生100年時代」といわれるようになりました。令和7年には団塊の世代が75歳以上を指す。後期高齢者になりませんが、「血液がん」は高齢でも治療が奏功し、治癒す

- ▼西脇病院「健康セミナー」
- ▼とき 3月12日（木）午後3時～4時
- ▼ところ 病院講堂（2階）
- ▼講師 外科部長 松岡宏樹 医師
- ▼内容 「ぢ」について、痔核、痔ろう、裂肛」
- ▼参加費 無料
- ▼問合せ 病院総務課（病院内線367）
- ▼糖尿病教室
- ▼とき 3月27日（金）午後2時～3時
- ▼ところ 病院講堂（2階）
- ▼内容 「糖尿病の方の災害時の心構えについて」ほかも
- ▼参加費 無料
- ▼持ち物 糖尿病手帳、運動継続カレンダー（お持ちの方のみ）
- ▼問合せ 内科（病院内線535）

はなみずきの会

乳がんについて話し、共に歩んでいきたいと思います。他の医療機関で治療を受けていても参加できます。

▼とき 3月28日（土）午後2時～4時

- ▼ところ 病院講堂（2階）
- ▼対象 がん経験者とその家族
- ▼内容 薬剤師による講話「乳がん治療薬について」
- ▼参加費 会員 無料▽非会員 500円
- ▼問合せ 乳腺外科 三輪（☎22-0111 nishiwaki nyugan@yahoo.co.jp）
- ▼紹介状持参で来院を
- 西脇病院では、地域の診療所（かかりつけ医）との連携強化に取り組んでいます。初診の方が、かかりつけ医からの「紹介状（診療情報提供書）」を持参すると、当院と

エントランスホールギャラリー

定本陽子さんによる押し花作品を展示します。

▼とき 3月2日（月）～31日（火）

▼問合せ 経営管理課（病院内線363）

ることもまれではありません。血液のがん（悪性腫瘍）には、白血病・リンパ腫・骨髄腫などの病名が付けられています。近年、次々と登場している分子標的治療薬や抗体医薬は高齢者でも安全に投与でき、生活の質の改善につながります。例えば、骨髄移植でしか命を救うことができなかった「慢性骨髄性白血病」は、今では飲み薬で治癒し、西脇病院でも治療を中止できる患者さんが出てきています。また、リンパ腫を患う80歳以上の患者さんに対しても、併存

症の適切な管理下で積極的な抗がん剤投与を行っており、世界トップクラスの病院で行われているレベルの治療成績が期待できます。当院で骨髄腫と診断された患者さんの半数は76歳以上です（全国平均74歳）が、70歳未満で自家造血幹細胞移植併用の大量抗がん剤治療でしか得られなかった「厳密な完全寛解（※）」に、内服薬のみで達成できた高齢患者さんも経験するようになりました。

高齢患者さんでは、若年者に対する抗がん剤治療のよう

な、科学的エビデンス（証拠）に基づく標準的治療が確立されておらず、受診する医療機関によって医師の意見が異なるケースが多くみられます。このような病院間格差を知る上でも、「セカンドオピニオン」を求め、治療の選択肢を少しでも広げて、納得できる治療を受けることが大切です。

※厳密な完全寛解 Ⅱ病気そのものは完全治癒とはいえないが症状がなく、感度の高い検査でも腫瘍細胞が検出されない・消失した状態が続くこと